

【 設問アプローチ 】

[21 - A]

問1 : ① [設問チェック] 傍線部について、「このときの弟の心情」が尋ねられている。

また、設問文から答えを出すために押さえておくべきポイントを確認する。

「小説」の問題では、設問や傍線部中に〈心情〉や〈描写〉があるときには、その内容を明らかにするのがルール！

→ 「肚だたしくもあった」という〈心情〉があるので、その内容を明らかにする。

直前の「それが」は、同じく傍線部中の「自分ひとりが…子どもだと思われ、」を指していて、これが「肚だたしくもあった」ことの内容になる。

② [本文読解] 「小説」の本文読解では、登場人物の〈心情〉や〈描写〉をチェックしながら内容把握する。

→ 本文を冒頭から通して読んでいくと、①で確認した傍線部の「肚だたしくもあった」ことの理由や経緯が傍線部までに説明されている。

そのため、傍線部までの内容を《根拠》の可能性として読解中にチェックしておく。

③ [判断基準] ②から、傍線部までの内容の要点を確認する。

5行目に「不安」、18行目に「帰ろうよ」という弟の〈心情〉と〈描写〉がある。

また、8行目以降で「桃」がキーワードになり、14行目に弟は「目をそむけた」という〈描写〉がある。これに対して、21行目には「弟の目には兄がおとなっぽく映った」という〈描写〉がある。

以上のことを踏まえて、おとなっぽい兄と乳のみ児のような自分(弟)の対比から、「自分ひとりが…子どもだと思われ」という〈心情〉があり、それが「肚だたしくもあった」という〈心情〉の説明になっていることが分かる。

→ このことを説明している選択肢を、解答として選ぶ。

問2 : ① [設問チェック] 傍線部について、社長に対する「主人の心情」が尋ねられている。

また、設問文から答えを出すために押さえておくべきポイントを確認する。

(1) 「要するに」… 傍線部までの内容を受けて、傍線部の内容がある構文。

(2) 「残念なんだ」… ポイントとなる〈心情〉。

この〈心情〉については、傍線部中に「社長とも…なさるとは」と内容説明されている。

② [本文読解] ①で「要するに」を確認したとおり、本文を通して読解する中でも、傍線部に関する内容が傍線部までの範囲にあることが分かる。

つまり、傍線部に至るまでの経緯を示した内容が29行目以降、傍線部までの部分にある。

この部分を《根拠》の可能性として読解中にチェックしておく。

→ 37行目の「あんまりみくびってもらいたくないもんだ」、「昔は社長のお世話になった」というのがこの範囲の内容のポイントになっている。

③ [判断基準] 選択肢文に〈心情〉や〈描写〉がある場合には、その表現や内容説明と本文の〈心情〉・〈描写〉の内容説明がそれぞれ適合しているかで正誤判断する。

→ ①の「残念なんだ」という〈心情〉について、その表現(言い換えも含む)や内容説明が適切か、

②の本文の内容説明を適切にしているか で選択肢を吟味する。

問3 : ① [設問チェック] 傍線部について、「兄の心情」が尋ねられている。

② [アプローチ] 傍線部のように兄が言った経緯や理由を、本文から明らかにする。

③ [本文読解] 傍線部を含む65行目のセリフに注目する。

傍線部の直前に、「がっかりしたな」という〈心情〉がある。また、「皆ぼくたちを見てたぜ」が傍線部に続いている。この部分が、傍線部の直接的な〈きっかけ〉になっている。

→ [アプローチ] (1) 「がっかりした」という〈心情〉の内容を明らかにする。

(2) 「皆ぼくたちを見てたぜ」から、兄弟が周囲の人に見られていた場面が兄の印象に残り、それを踏まえて傍線部のセリフを言ったという流れを把握できる。

「兄弟が周囲の人に見られていた場面」を確認し、《根拠》にする。

④ [判断基準] ③から、

(1) 「がっかりした」… 文章冒頭から傍線部までの内容より、酒場の主人にお金をもらえなかったことについての〈心情〉。

(2) 「皆ぼくたちを見てたぜ」… 41行目から51行目までの場面。

46行目の「いきりたった主人のけんまくに…」とあるように、兄弟は他の客前で主人に責められている。

これに対して、47行目で「兄は言葉もなくうなだれている」という〈描写〉があり、62・63行目では「どうしよう」というセリフと「弱々しい兄の口調」という〈描写〉がある。

→ ここから、傍線部のように兄が言った背景には、

酒場の主人にお金をもらえず目的を果たせなかったことへの「落胆」と、客前で責められたことへの「恥ずかしさ」があったことが窺われる。

それに対して、傍線部で「桃は食べなかった」と言っているということは、罵倒された相手からの施しを受けなかったと思うことで、自分のプライドをなんとか保とうとしての発言であることが読み取れる。

21行目の兄の〈描写〉が、選択肢「ウ」の「毅然とした態度」という説明に合致する。

以上のことから、選択肢「ウ」を解答として選ぶ。

問4 : ① [設問チェック] 設問文から答えを出すまでに必言な内容を整理する。

(1) 「本文を通して」→ [アプローチ] 本文全体の内容に関わる問題なので、選択肢文のキーワードを先にチェックしておく。

(2) 「兄と弟の違い」→ [アプローチ] 本文全体を通して兄と弟の〈描写〉に注目し、該当する内容をチェックしながら本文読解する。

② [設問読解] ①を踏まえて、本文と選択肢文のチェックを照らし合わせて、解答を出す。

問5 : ① [設問チェック] 設問文から答えを出すまでに必言な内容を整理する。

(1) 「この文章において」→ [アプローチ] 本文全体の内容に関わる問題なので、選択肢文のキーワードを先にチェックしておく。

(2) 「木犀」 → [アプローチ] 本文全体を通して木犀の〈描写〉に注目し、該当する内容をチェックしながら本文読解する。

(3) 「適当でないもの」を選ぶ。 → 他の4つの選択肢は、本文にその内容がある。

② [本文読解] 「木犀」のキーワードは、67行目で初めて登場するので、本文読解中にこの行にチェックを入れておき、「木犀」についての〈描写〉に注意し、内容をチェックしながら読み取る。

③ [設問読解] ①を踏まえて、本文と選択肢文のチェックを照らし合わせて、解答を出す。